

地域防災対策

阪神・淡路大震災は「地域の人々が協力し合って防災活動を進めることが大切」という重要な教訓を残しました。日頃から近隣の人々との交流を深め、積極的に自主防災組織に参加して、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

災害に強いまちをつくるためにみんなで実行したい5つのステップ

1. 家族だけでなく、近隣の人々の動向にも関心を持つ。
2. 地域の人々と気軽に挨拶をかわし合い、交流を深める。
3. 地域のサークルやボランティア活動に積極的に参加する。
4. 祭りや運動会などの地域の行事に進んで参加する。
5. 防災講習会、防災訓練、自主防災組織に積極的に参加する。